



～つくばエクスプレスは今年で開業 20 周年～

TX つくばエクスプレス

2025年4月3日(木)

首都圏新都市鉄道株式会社

『駅機能のあり方勉強会』報告書について

～つくば駅をモデルとして多様なニーズや社会的課題への対応など、
駅に求められる機能の将来的な方向性を取りまとめました～

つくばエクスプレス(TX)を運営する首都圏新都市鉄道株式会社(代表取締役社長 渡邊 良、本社:東京都千代田区)では、2025年8月24日(日)に開業20周年を迎えるに当たり、「つくば駅」をモデルとして有識者等で構成する「駅機能のあり方勉強会」を2024年10月に発足し、2025年2月まで全4回にわたり、幅広い見地からご意見を頂きながら将来的な方向性を検討してまいりました。このたび報告書がまとまりましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 目 的 : 当社がさらに地域に根づき、愛される鉄道として、沿線のまちづくりとともに発展していくことを目指し、地域の顔でもある「駅」にスポットを当て、TX 沿線のさらなるブランディング向上に向けて、基本的な駅機能から多様なニーズや社会的課題への対応など今後に向けて求められる機能等について、幅広い見地を得ながら今後の方向性を取りまとめていく事といたしました。なお、駅は当社の象徴的なターミナルかつゲートウェイ駅である「つくば駅」をモデルとしています。
また当社は、鉄道輸送を担う役割のみならず、駅からつながる駅前や駅周辺施設に及ぶエリアに向けての連続的な駅まちづくりの取組みにおいても、自治体・企業等の皆様と連携して積極的に貢献し、駅構内外・高架下などの鉄道施設は、商業に加えて、地域活動や公共利用への利活用に向けて検討していく必要があると考えています。
2. 概 要 : 本勉強会に当たっては、以下に掲げた5つの論点を元に議論を行いました。

【5つの論点】

- ①顔・表玄関としての駅に求められる役割・機能・視点
- ②駅を起点として、駅周辺施設等に及ぶ連続的な取組みと求められる関係者間の連携
- ③TXの駅・つくば駅としての個性(「らしさ」、ネットワークとしての統一性・象徴性(ブランド力))
- ④沿線全体の発展に向けた高架下利用のあり方
- ⑤駅における情報発信の対象や方法

論点ごとに示された主な課題と今後の方向性

- ① ☐ 駅の印象(おもてなし感・駅構内の暗さ等)の改善
☐ 改札階における流動動線の改善
☐ 駅周辺地図の配置や各出口(バス乗場・観光案内所等)への案内等、案内機能の改善
☐ トイレ・コインロッカー・ベンチ等、利便設備の機能充実
☐ 観光・通勤通学・障がい者・訪日外国人等、多様なレイヤーへの案内機能の充実

- ② ☐ 駅と駅周辺が一体となった「共創」の体制づくり
 - ☐ 「駅・駅前・センター広場」の連携を意識した情報案内の充実
 - ☐ 沿線の魅力的な情報提供による周遊性・回遊性の創出
- ③ ☐ 「沿線地域とのつながり」の追求
 - ☐ ネットワークを活用した地場産品等の宣伝・販売
 - ☐ 科学技術や大学との連携等、「つくば」らしさを感じられる駅の追求
- ④ ☐ 「地域貢献・公共貢献」の視点での高架下活用
 - ☐ 歩行ゾーンの形成等、駅周辺での回遊性を意識した高架下活用
- ⑤ ☐ 「わかりやすい」案内サイン(案内板や床面サイン等)の設置
 - ☐ 利用者の視点から見た適切な情報発信

3.今後について： 上記に記載した課題と今後の方向性の具体化に向けたロードマップを作成してまいります。また本勉強会において、鉄道事業者・自治体・民間・大学・まちづくり団体等の関係者での連携が育まれてきた機運を生かし、駅とまちづくりのあり方について、関係者間での『共創』を図る場としてコンソーシアム的な機能として発展するよう、引き続き、努力してまいります。さらに、つくば駅におけるこのような取組みをそれぞれの特性を踏まえつつ、沿線の他駅にも展開していくことにより、TX 沿線全体としての価値・魅力・ブランド力の向上に繋げてまいります。

4. 委 員：【有識者】

(敬称略) (交通まちづくり)

岡本 直久 筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授

藤井さやか 筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授

(観光・文化)

三重野真代 東京大学 公共政策大学院 特任准教授

芳野 まい 東京成徳大学 経営学部 経営学科 准教授

(建築デザイン・IT)

伊藤 香織 東京理科大学 創域理工学部 建築学科 教授

諸星 賢治 合同会社 MoDip 代表

ほか、沿線企業等数社

☐ 「つくばエクスプレス 駅機能のあり方勉強会 報告書(概要版)」

URL：https://www.mir.co.jp/assets/pdf/tx_ekikinou_report.pdf

以 上